



公開研究会

入所施設の歴史を語る

障害のある本人との共同研究の取り組み

Social History of Learning Disability

2018年 **9月1日** **土** **13:30-16:30**

同志社大学今出川キャンパス 良心館2F RY207教室

京都市上京区烏丸今出川（京都市営地下鉄「今出川駅」下車すぐ）

プログラム

13:30- 開会 進行：小山聡子(日本女子大学教授)

13:40-14:50 講演

Jan Walmsley 【逐次通訳：田中弘美(同志社大学)】

(知的障害者の社会参加に関する教育・研究コンサルタント)

15:00-15:40 日本の取り組み紹介

中西 正繁 (ケアの文化研究所 本人リサーチャー)

15:40-16:10 質疑応答

16:10-16:30 コメントとまとめ



趣旨

かつて施設に入所していた障害者のほとんどがコミュニティで暮らすようになったイギリスにおいて、入所施設の歴史を語り継ぎ、その負の歴史から学び続ける取り組みが続けられています。インクルージョン政策が進められてきたイギリスにおいても、知的障害のある人たちを排除する社会構造が完全になくなったわけではないからです。

講演者のジャン・ウォームズリー (Jan Walmsley) さんが取り組んでいるのは、入所施設の歴史や、本人と家族のアドボカシーについて、知的障害者と共同研究を行うインクルーシブリサーチです。

この研究会では、イギリスにおけるインクルーシブリサーチの具体例に学ぶことで、日本において知的障害者の社会的包摂を進めていくための新しい観点を見出していきたいと考えています。

◆参加申込：「公開講演会（京都）参加希望」とお書きのうえ、お名前をご連絡ください。

E-mail: carecarelab2018@gmail.com

◆関連情報はこちらのサイトでご確認ください：<http://caringsociety.net/lab/>